

キャッチアップ ビジネス用途集

 Money Forward クラウド

※チェックリストに従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年5月時点の内容となっております。最新の情報はの資料等をご確認ください。

ビジネスにおけるキャッチアップの意味と使い方

ビジネスシーンでの「キャッチアップ」は、主に「状況を把握する」「（不足情報を）後から追って理解する」という意味で使われます。これは元々の「追いつく」という意味から派生した用法です。例えば、会議の欠席者が議事録で内容を把握する際に用います。

日本語で「状況把握」の意味合いでは「情報収集」「理解促進」と言い換えられます。「遅れを取り戻す」場合は「挽回する」などが適切です。

【業界別】キャッチアップの使われ方

キャッチアップは業界ごとに特有の意味で使われることがあります。

業界	キャッチアップの意味・使い方	具体例
ビジネス一般	不足情報・知識の後追い把握	会議内容の把握、業界動向の理解
経済	遅れた企業や国が先進的手法で追いつくこと	新技術での競合追随、途上国が先進国へ追いつく
医療	現象 胎児の成長遅延回復 ピックアップ障害 卵子の卵管取り込み不能 接種 推奨時期を逃した予防接種の後日実施	HPVワクチンの後日接種
IT	機能 未読を飛ばし最新へ（ニュース等） 画像 ネット画像取込 exp ゲーム経験値（対戦相手撃破時）	未読メールの一括既読、ゲーム内経験値獲得

業界	キャッチアップの意味・使い方	具体例
教育	学習の遅れ回復、知識補充	補習での苦手克服、講習での内容理解

キャッチアップ力を高める5つの習慣

新しい情報や変化に迅速に対応する「キャッチアップ力」は、意識的なトレーニングで向上可能です。

1 現状の客観的把握

自分に不足している知識やスキルを客観的に認識することが第一歩です。

2 柔軟な思考の維持

固定観念に囚われず、新しい情報や変化を素直に受け入れる姿勢が重要です。

3 信頼性の高い最新情報の収集

業務関連情報や社会動向など、信頼できる最新情報を常に得る習慣をつけましょう。

4 不明点の即時解決

疑問点は放置せず、自分で調べるか質問するなどして速やかに解消します。

5 モチベーションの維持と目標設定

継続的な学習意欲を保つため、小さな目標を設定し達成感を得ることが有効です。

